令和３年４月１６日

電源開発株式会社様の「松島計画」発表について

西　海　市

本日、電源開発株式会社様より、本市に立地する松島火力発電所に石炭ガス化技術を活用したシステムを導入しようとする「GENESIS松島計画」が発表されました。

同計画は、CO2フリーによる水素発電および水素製造に向けての第一歩となるものであり、世界的な課題である脱炭素社会の実現に大いに貢献するものであります。

このような大きな歴史的意義のある計画を、わが西海市において実施していただくことに対し、市民を代表して、心より感謝申し上げますとともに、その実現に向けて市としても全力をあげてご協力することをお誓いいたします。

　西海市の歴史は、かつては有数の産炭地域として、戦後復興と高度成長に貢献し、エネルギー革命後は、日本初となる輸入炭専焼発電所であるJ-power松島火力発電所が稼働するなど、エネルギー政策の変遷に伴って、常に重要なエネルギー供給地域としての役割を担ってまいりました。

そのため「2050年　脱炭素社会の実現」という国家目標が明らかになってからは、率先してこれに貢献すべく、「脱炭素社会モデル地域」を市の目標に掲げて、江島(エノシマ)沖洋上風力発電の推進と併せ、松島火力発電所の高効率発電システムへの転換について、国および電源開発株式会社様に要望してまいったところであり、本日の「GENESIS松島計画」の発表は、まさに目標実現への大きな一歩が踏み出されたことと感激に耐えません。

この計画が、本市の雇用や地域経済に広く波及効果を及ぼすことは言うまでもありませんが、発電プラント関係に優位性を持つ長崎県全体にとっても、大きな経済効果をもたらすものと期待しております。

おりしも今日は、江島沖を洋上風力発電の推進区域とするための、国の法定協議会が４月２３日にも開催されることが発表されました。

「起源」を意味する「GENESIS」の言葉どおり、西海市が日本の脱炭素社会のまさに「起源の地」となりますよう、全力をあげて取り組む覚悟です。